

オリーブ牛

明治41年、農商務省が三重、香川、鹿児島 の3県を指定してアメリカから輸入した苗木で試作を始めた中で、香川県だけが栽培に成功したオリーブ。温暖な瀬戸内の気候に恵まれ香川県の県花・県木でもあるオリーブは、小豆島を中心に栽培が広がっていきました。

そしてオリーブ油を搾った後のオリーブから作られた「オリーブ飼料」を出荷前に2か月以上食べて育った黒毛和牛「讃岐牛(さぬきうし)」がオリーブ牛です。

オレイン酸を多く含むオリーブを食べることにより、含まれる油の質が高く、旨み・柔らかさが絶品に仕上がったブランド和牛は、全国品評会でも賞を受賞し、近年では海外のファンも増えています。